

単独処理浄化槽を対象とした使用状況実態等把握

(1) 事業の概要

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換することが喫緊の課題である。

このため、希望する都道府県において、単独処理浄化槽の設置、使用状況を戸別訪問調査により実施するほか、公衆衛生の確保上問題があると疑われる単独処理浄化槽について必要に応じて水質検査等の実施、検査を実施する指定検査機関から維持管理業者へ直接情報提供することによる早期改善策の実施等により、行政による浄化槽設置・維持管理状況の把握、住民に対する法定検査受検の徹底、問題のある単独処理浄化槽の改善指導、といった解決策を提示する。

(2) 事業実施主体 環境省

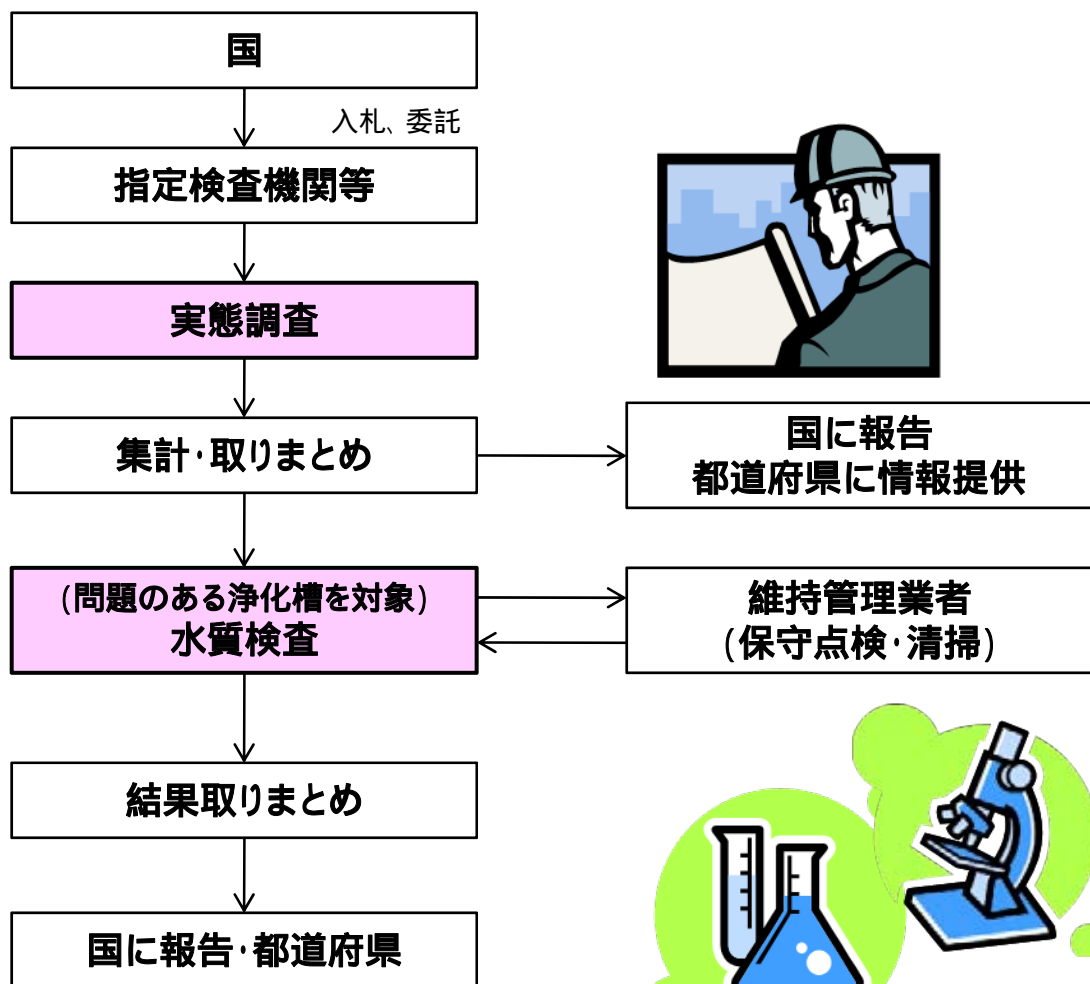
(3) 予算額 303百万円

単独処理浄化槽を対象とした使用状況実態等把握 (要望額: 303百万円)

【施策のポイント】

戸別訪問による悉皆調査を通じて、単独処理浄化槽の設置状況・処理状況の実態を把握し、法定検査の徹底、単独処理浄化槽の転換推進の解決案、水質に問題のある浄化槽の早期改善策を提示する。

事業の実施フロー



管理実態の現状把握により

行政による浄化槽設置、維持管理状況の把握
住民に対する法定検査受検の徹底
問題のある単独処理浄化槽の改善指導
を提示する。